

平成18年10月吉日

自由民主党所属国会議員各位

運動器の健康を増進させ健康寿命を延伸させる議員連盟

設立発起人一同

運動器の健康を増進させ健康寿命を延伸させる議員連盟（運動器議連）設立総会とご入会のご案内

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、わが国は、平均寿命こそ世界一を達成しておりますが、平均寿命と健康寿命の間に数年の隔たりがあることが指摘されており、今後の医療・介護制度を考える上で、健康寿命の延伸が、喫緊の課題となっています。

このような課題に取り組み、健康寿命延伸のための医療の在り方について研究するとともに、その普及・充実を図ることを目的として「健康寿命の延伸を目指す議員の会」を設立するため、設立準備会を下記の通り開催することとなりました。

つきましては、設立総会に、別添設立趣意書にご賛同いただける諸先生方のご出席を賜りたく、ここにご案内申し上げます。

謹白

記

- 1 開催日時 平成18年11月21日（火）午前11時より
- 2 開催場所 自由民主党本部510号室

設 立 趣 意 書

わが国の平均寿命は、男性78.4歳、女性85.3歳と、既に世界一を達成しているが、健康寿命（健康で自立して暮らすことのできる期間）については、それぞれ、72.3歳及び77.7歳と、平均寿命と健康寿命の間に、なお数年の隔たりがある。

高齢化社会の進展に伴う老人医療・介護費用の増大が、わが国の国民皆保険制度を維持する上で、大きな不安要因となっている現在、平成16年5月、自由民主党が公表した「健康フロンティア戦略」をさらに肉付けし、健康寿命の延伸を図るための施策を検討することは、まさに緊急の課題である。

そして、これらの課題に対処するに当たっては、高齢者が要介護になる原因の半数近くが、運動器（背骨、腰、手及び脚）の疾患・障害、あるいは、これに伴う廃用症候群であるといった現実を直視し、今後の運動器医療をどのような位置づけるかなどの具体的諸点について、正確な要因分析に基づく提言を行っていくことが大切である。

そこで、運動器医療に携わる整形外科医をはじめ、関係方面からの提案を聞き、健康寿命延伸のための施策について研究を深めるとともに、その普及・充実を図るため、「運動器の健康を増進させ健康寿命を延伸させる議員連盟」を設立しようとするものである。

何卒、趣旨にご賛同賜り、ご入会いただけますようお願い申し上げます。

平成18年10月吉日

健康寿命の延伸を目指す議員の会

設立発起人一同

（発起人代表 参議院議員 尾辻秀久

衆議院議員 鴨下一郎）